

ポイント

どちらかが「1」という数になるように割る

(例) 240㎡の公園で60人の子どもが遊んでいます。

(1) 1㎡に何人いることになりましたか。	(2) 1人分の広さは何㎡ですか。
面積が「1」になるのは、 $240 \div 240$ です。 だから、60という人数も、240で割ります。 (式) $60 \div 240 = 0.25$	人数が「1」になるのは、 $60 \div 60$ です。 だから、240という面積も、60で割ります。 (式) $240 \div 60 = 4$
(答え) 0.25人	(答え) 4㎡

(問題1) 300㎡の公園で120人の子どもが遊んでいます。

(1) 1㎡に何人いることになりましたか。	(2) 1人分の広さは何㎡ですか。
(式)	(式)
(答え)	(答え)

(問題2) 250gで1250円の牛肉があります。

(1) 1g何円ですか。	(2) 1円で何g買えますか。
(式)	(式)
(答え)	(答え)

(問題3) 600gで2400円の牛肉Aと、500gで2100円の牛肉Bでは、どちらが安いですか。

(やりかた1) 1gに何円払うかを比べる。	(やりかた2) 1円で何g買えるかを比べる。
(式)	(式)
(答え)	(答え)

ポイント

どちらかが「1」という数になるように割る

(例) 240㎡の公園で60人の子どもが遊んでいます。

(1) 1㎡に何人いることになりますか。

面積が「1」になるのは、 $240 \div 240$ です。
だから、60という人数も、240で割ります。
(式) $60 \div 240 = 0.25$

(答え) 0.25人

(2) 1人分の広さは何㎡ですか。

人数が「1」になるのは、 $60 \div 60$ です。
だから、240という面積も、60で割ります。
(式) $240 \div 60 = 4$

(答え) 4㎡

(問題1) 300㎡の公園で120人の子どもが遊んでいます。

(1) 1㎡に何人いることになりますか。

面積が「1」になるのは、 $300 \div 300$ です。
だから、120という人数も、300で割ります。
(式) $120 \div 300 = 0.4$

(答え) 0.4人

(2) 1人分の広さは何㎡ですか。

人数が「1」になるのは、 $120 \div 120$ です。
だから、300という面積も、120で割ります。
(式) $300 \div 120 = 2.5$

(答え) 2.5㎡

(問題2) 250gで1250円の牛肉があります。

(1) 1g何円ですか。

重さが「1」になるのは、 $250 \div 250$ です。
だから、1250という値段も、250で割ります。
(式) $1250 \div 250 = 5$

(答え) 5円

(2) 1円で何g買えますか。

値段が「1」になるのは、 $1250 \div 1250$ です。
だから、250という重さも、1250で割ります。
(式) $250 \div 1250 = 0.2$

(答え) 0.2g

(問題3) 600gで2400円の牛肉Aと、500gで2100円の牛肉Bでは、どちらが安いですか。

(やりかた1) 1gに何円払うかを比べる。

牛肉A… $600 \div 600$ で1gだから
 $2400 \div 600 = 4$
1gに4円払う

牛肉B… $500 \div 500$ で1gだから
 $2100 \div 500 = 4.2$
1gに4.2円払う

(答え) 牛肉Aの方が安い

(やりかた2) 1円で何g買えるかを比べる。

牛肉A… $2400 \div 2400$ で1円だから
 $600 \div 2400 = 0.25$
1円で0.25g買える

牛肉B… $2100 \div 2100$ で1円だから
 $500 \div 2100 = 0.238\cdots$
1円で0.238…g買える

(答え) 牛肉Aの方が安い

比べるだけだから、(やりかた2)の牛肉Bのように、途中で計算を終えてかまいません。

プリントゆうえんちにもどる (1) (1)答え (2) (2)答え (3) (3)答え

ポイント

どちらかが「1」という数になるように割る

(問題1) 3. 4mで425円のリボンがあります。

(1) 1mあたり何円ですか。

(式)

(答え) 円

(2) 2. 6m買うと何円ですか。

(式)

(答え) 円

(3) 1円で買えるのは、何cmですか。

(式)

(答え) cm

(4) 500円で何m買えますか。

(式)

(答え) m

(問題2) へいにペンキをぬるのに、15m²で24dl 使います。

(1) 1m²あたり何dl 使いますか。

(式)

(答え) dl

(2) 8. 4m²をぬると、何dl 使いますか。

(式)

(答え) dl

(3) 1dl で何m²ぬれますか。

(式)

(答え) m²

(4) 4. 4dl で、何m²ぬれますか。

(式)

(答え) m²

(問題3) 印刷機Aは30分間で1500まい、印刷機Bは20分間で1100まい印刷します。

どちらの印刷機が速いですか。

印刷機Aが1分間に印刷するのは…

印刷機Bが1分間に印刷するのは…。

(式)

1分間に まい印刷

(式)

1分間に まい印刷

(答え) の方が速い

ポイント

どちらかが「1」という数になるように割る

(問題1) 3.4mで425円のリボンがあります。

(1) 1mあたり何円ですか。

長さが「1」になるのは、 $3.4 \div 3.4$ です。
だから、425という金額も、3.4で割ります。
(式) $425 \div 3.4 = 125$

(答え) 125円

(2) 2.6m買うと何円ですか。

1mが125円とわかったから
2.6倍すれば2.6mぶんの金額が出ます
(式) $125 \times 2.6 = 325$

(答え) 325円

(3) 1円で買えるのは、何cmですか。

金額が「1」になるのは、 $425 \div 425$ です。
だから、340(cmです!)も、425で割ります。
(式) $340 \div 425 = 0.8$

(答え) 0.8cm

(4) 500円で何m買えますか。

1円で0.8cmとわかったから
500倍すれば500円ぶんの長さが出ます
(式) $0.8 \times 500 = 400$
単位はcmであることに注意。 $400\text{cm} = 4\text{m}$

(答え) 4m

(問題2) へいにペンキをぬるのに、 15m^2 で24dl使います。

(1) 1m^2 あたり何dl使いますか。

面積が「1」になるのは、 $15 \div 15$ です。
だから、24という量も、15で割ります。
(式) $24 \div 15 = 1.6$

(答え) 1.6dl

(2) 8.4m^2 をぬると、何dl使いますか。

1m^2 に1.6dlとわかったから
8.4倍すれば 8.4m^2 ぶんの量が出ます
(式) $1.6 \times 8.4 = 13.44$

(答え) 13.44dl

(3) 1dlで何 m^2 ぬれますか。

量が「1」になるのは、 $24 \div 24$ です。
だから、15という面積も、24で割ります。
(式) $15 \div 24 = 0.625$

(答え) 0.625 m^2

(4) 4.4dlで、何 m^2 ぬれますか。

1dlで0.625 m^2 とわかったから
4.4倍すれば4.4dlぶんの面積が出ます
(式) $0.625 \times 4.4 = 2.75$

(答え) 2.75 m^2

(問題3) 印刷機Aは30分間で1500まい、印刷機Bは20分間で1100まい印刷します。

どちらの印刷機が速いですか。

印刷機Aが1分間に印刷するのは…

時間が1分間になるのは $30 \div 30$
だから、1500というまい数も、30で割ります。
(式) $1500 \div 30 = 50$

1分間に50まい印刷

印刷機Bが1分間に印刷するのは…

時間が1分間になるのは $20 \div 20$
だから、1100というまい数も、20で割ります。
(式) $1100 \div 20 = 55$

1分間に55まい印刷

(答え) 印刷機Bの方が速い

プリントゆうえんちにもどる (1) (1)答え (2) (2)答え (3) (3)答え

分数をうまく使うと、「どっち÷どっち？」がわかるようになります。

(例1) あめが12個あります。4人の子どもに等しく分けると、1人何個になりますか。

$$12 \div 4 = \frac{12}{4} = \frac{3}{1} \quad (\text{本当は「3」にするけど、ここでは分数のままにして考えます。})$$

上の式の意味は→ $\frac{12\text{個}}{4\text{人で}} = \frac{3\text{個}}{1\text{人あたり}}$

分母が「1…あたり」「1…につき」などの数になるように、分数を作る

(プリント1・2の問題を、もう1度解いてみよう。

(問題1) 240㎡の公園で60人の子どもが遊んでいます。

(1) 1㎡に何人いることになりますか

$\frac{60\text{人}}{240\text{㎡に}}$ を計算すれば $\frac{\text{何人?}}{1\text{㎡あたり}}$ が出ます。

分母が「㎡」になるように、分数にしまえばよい。

答え 人

(2) 1人分の広さは何㎡ですか

$\frac{240\text{㎡}}{60\text{人で}}$ を計算すれば $\frac{\text{何㎡?}}{1\text{人あたり}}$ が出ます。

答え ㎡

(問題2) へいにペンキをぬるのに、15㎡で24dl 使います。

(1) 1㎡あたり何dl使いますか。

答え dl

(2) 1dl で何㎡ぬれますか。

答え ㎡

(問題3) 印刷機Aは30分間で1500まい、印刷機Bは20分間で1100まい印刷します。

どちらの印刷機が速いですか。

A…

B…

答え

プリントゆうえんちにもどる (1) (1)答え (2) (2)答え (3) (3)答え

分数をうまく使うと、「どっち÷どっち？」がわかるようになります。

(例1) あめが12個あります。4人の子どもに等しく分けると、1人何個になりますか。

$$12 \div 4 = \frac{12}{4} = \frac{3}{1} \quad (\text{本当は「3」にするけど、ここでは分数のままにして考えます。})$$

上の式の意味は→ $\frac{12\text{個}}{4\text{人で}} = \frac{3\text{個}}{1\text{人あたり}}$

分母が「1…あたり」「1…につき」などの数になるように、分数を作る

(プリント1・2の問題を、もう1度解いてみよう。

(問題1) 240㎡の公園で60人の子どもが遊んでいます。

(1) 1㎡に何人いることになりますか

$\frac{60\text{人}}{240\text{㎡}}$ を計算すれば $\frac{\text{何人?}}{1\text{㎡あたり}}$ が出ます。

分母が「㎡」になるように、分数にしてみよう。

$$\frac{60}{240} = 60 \div 240 = 0.25 \quad \text{くわしく書くと、} \frac{60}{240} = \frac{60 \div 240}{240 \div 240} = \frac{60 \div 240}{1} = 60 \div 240 = 0.25$$

答え 0.25人

(2) 1人分の広さは何㎡ですか

$\frac{240\text{㎡}}{60\text{人で}}$ を計算すれば $\frac{\text{何㎡?}}{1\text{人あたり}}$ が出ます。

$$\frac{240}{60} = 240 \div 60 = 4 \quad \text{くわしく書くと、} \frac{240}{60} = \frac{240 \div 60}{60 \div 60} = \frac{240 \div 60}{1} = 240 \div 60 = 4$$

答え 4㎡

(問題2) へいにペンキをぬるのに、15㎡で24dl 使います。

(1) 1㎡あたり何dl使いますか。

$\frac{24\text{dl}}{15\text{㎡で}}$ を計算すれば $\frac{\text{何dl?}}{1\text{㎡あたり}}$ が出ます。 $\frac{24}{15} = 24 \div 15 = 1.6$

答え 1.6dl

(2) 1dl で何㎡ぬれますか。

$\frac{15\text{㎡}}{24\text{dlで}}$ を計算すれば $\frac{\text{何㎡?}}{1\text{dlあたり}}$ が出ます。 $\frac{15}{24} = 15 \div 24 = 0.625$

答え 0.625㎡

(問題3) 印刷機Aは30分間で1500まい、印刷機Bは20分間で1100まい印刷します。

どちらの印刷機が速いですか。

A… $\frac{1500\text{まい}}{30\text{分間で}}$ だから $\frac{1500}{30} = \frac{50}{1}$ 1分間に50まい印刷する

B… $\frac{1100\text{まい}}{20\text{分間で}}$ だから $\frac{1100}{20} = \frac{55}{1}$ 1分間に55まい印刷する

答え 印刷機Bの方が速い